

している基礎工法のス
カート断熱工法とトレ
オのシステム基礎の考
え方を融合。凍結深度
までのRC造の地中梁
を2層以下に抑制し

要となる。また、「Q
FU」は工場からの運
搬を可能にするため
の高温熱・無落雪タイ
プの屋根システム「フ
ラットルーフ」では屋

規格型システム建築
「ティオ」と「トレオ」
の高熱熱・無落雪タイ
プの屋根システム「フ
ラットルーフ」では屋

また、新日鉄住金の
外法一定日形鋼「ハイ
パービーム」を「ティ
オ」と「トレオ」の鉄
骨システムの規格に組

三重鋼業

スウェーデン社の独自鋼丸棒

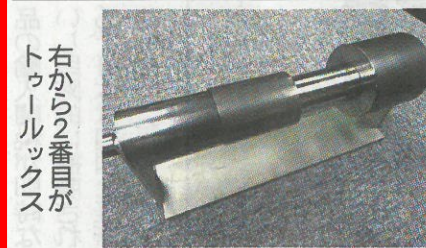
共和工業所が加工販売

産業機械製作・鋼材
加工販売業の共和工業
所(本社・岡山県倉敷
市、社長・石本隆一氏)
は国内で初めてスウェ
ーデンスチール社(S
SAB)製の焼き入れ
焼き戻し鋼「TOOL
OX」(トゥールック
ス)の丸棒の加工販売
を開始した。同鋼種の
扱いは国内初。SSA

Bアジアの中核拠点で
あるシンガポール経由
で輸入する。第18回関
西機械要素技術展(10
月7~9日)に出展中

で、市場認知度を高め
る。ユーザーの反応や
ニーズも汲み取り、需
要喚起に繋げる。

トゥールックスは残
留応力が少なく、加工
後の歪みがほぼ見られ
ないのが特長。熱処理
不要のプリハードン鋼
で、普通鋼の2~3倍
の強度を持ちながら、
切削性・溶接性にも優



右から2番目が
トゥールックス

れる。硬度を直径10
0ミリのS45Cと比較す
ると、同等の硬度がト
ールックスの場合は
直径74・3ミで得られ
るなど、使用重量減少
に貢献できる。

同社では「TOOL
OX40」と「TOOL
OX44」を幾つかの径
サイズによって1~2
本ずつ在庫しており、
長さは4層以上5層未
満。耐摩耗鋼の領域で
の代替や、アルミ押し
出し金型などの需要を
見込んでいる。金型用
には素材売りし、産業
用機械向けには加工販
売を行う方針。国内の
取扱実績がなく、市場
開拓に時間を要すると
しながらも、潜在需要
は高いと期待を寄せて
いる。



三井物産スチール

新体制の中期戦略

部門の概要は。
「部門が発足したの
は昨年11月。当社の国
内建材部門などを承継
した三井物産メタルワ
ン建材(MMK)設立
に伴うものだ」

「日本製品の輸出が
メインの建材貿易部、
海外投資案件の取りま
とめやビジネスモデル
提案を手掛け、鋼材供
給につなげていく使命
を負う海外事業開発
部、国内グループ会社
の建設・不動産案件を
扱い各営業部隊に橋渡
しするプロジェクト開
発部の3部で構成す
る。人員は35人。うち
若手3人は海外研修中
で、インドネシアに2

人、あと1人はベトナ
ムに派遣している」
「売り上げや製品
取扱量の目標は。
「目線がグローバル
かつ組織横断的な部門
のため、扱いも形鋼や
棒鋼、鋼板、鋼管など
多品種にわたり、売り
上げや数量、利益がヒ
モ付かないことが多い
ので端的には答えにく
いが、グループとして
連結で取り扱いの面積
を拡げていくという考
え方だ。現在、半製品
のピレットを含むイン
フラ向けの条鋼建材な

プロジェクト鋼材部門長

横井 克年 常務



海外インフラ整備

人材育成

「ターゲットとする
インフラは、自動車、
エネルギーと比べても
伸び代の非常に大きい
分野だ。一方で、鋼材
を右から左へ流すだけ
の従来型の商売は先細
りしていく。機能を発
揮できなければ存在意
義がなくなると、

「ターゲットとする
インフラは、自動車、
エネルギーと比べても
伸び代の非常に大きい
分野だ。一方で、鋼材
を右から左へ流すだけ
の従来型の商売は先細
りしていく。機能を発
揮できなければ存在意
義がなくなると、

「ターゲットとする
インフラは、自動車、
エネルギーと比べても
伸び代の非常に大きい
分野だ。一方で、鋼材
を右から左へ流すだけ
の従来型の商売は先細
りしていく。機能を発
揮できなければ存在意
義がなくなると、